

平成29年度  
京都教育大学附属高等学校  
自己評価実施結果報告書

1. 本校の基本情報

- (1) 学校名 京都教育大学附属高等学校
- (2) 所在地 京都市伏見区深草越後屋敷町 111
- (3) 生徒数 585人（男子280人、女子305人）、15学級（1学年5学級）
- (4) 教職員数  
校長（併任）、副校長1、主幹教諭1、教諭33（うち任期付教諭3）、養護教諭1、  
非常勤講師10、ALT1、事務職員3（専任1、事務補佐員2）、非常勤用務員1

2. 本校の教育目標

未来を拓く確かな学力の保障と豊かな人間性の形成

3. 京都教育大学附属学校園の目的

教育の実験、実証並びに実習の機関として、本学に附属学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校）を置く。（本学学則第56条）

本学附属学校は、児童、生徒又は幼児に対して、学校教育法の定めるところにより、教育又は保育を行うとともに、本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究に協力し、本学の計画に従い、学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。（附属学校規定第2条）

4. 本校の学校教育計画（年度重点目標）

- (1) 教科指導を充実させ生徒の学力の向上につとめる。
- (2) 進路指導を充実させる。
- (3) 自律的・自立的かつ人権意識の高い生徒を育成する。
- (4) 今日の教育課題に則した教育研究を推進し、その成果を還元する。
- (5) 教育活動の情報発信を充実させる。
- (6) 安心・安全な教育環境の保障と整備を行う。

5. 附属学校園の機能向上に関する取り組み

- (1) 教育実習の指導のより一層の充実及び教育実習の改善を図る。
- (2) 大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究に協力する。
- (3) 地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の公表を図る。

6. 本校の特色

本校は創立当時から、自主自律の精神を重んじ、高い知性・健康な身体・豊かな情操の調和した人間形成に努め、生徒の能力・適性・進路などに応じた教育を進めています。

平成14年度から文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の研究開発校として第1期から現在第4期まで連続して指定を受け、科学技術人材の育成に努めています。また、平成28年度から文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイト」に位置づけられ、本学の「グローバル人材育成プログラム」事業と共に、グローバルリーダーに必要な能力の育成にも取り組んでいます。

|                |
|----------------|
| 自己評価           |
| A 高いレベルで達成できた  |
| B 達成できた        |
| C 一部達成できなかった   |
| D ほとんど達成できなかった |

①教育活動その他の学校運営に関する事項(学校教育法に基づく評価)

| 本年度の重点目標                     | 具体的な取り組み内容  | 自己点検評価 | 自己評価区分 | 学校関係者評価 | 改善策 |
|------------------------------|---|--------|--------|---------|-----|
| (1) 教科指導の充実と生徒の学力の向上         | ①生徒の学習習慣を形成し学力の向上をはかる。<br>②大学受験にも対応した授業や補習を行う。  | *      | *      | *       | *   |
| (2) 進路指導の充実                  | ①3年間を見通した計画的な進路指導を行う。<br>②進路ガイダンス、進路ホームルームや個人面談を通じて生徒の進路実現を支援する。  | *      | *      | *       | *   |
| (3) 自律的・自立的かつ人権意識の高い生徒の育成    | ①生活時間の管理、身のまわりの環境整備、マナーの向上など生徒の基本的な生活習慣を確立する。<br>②生徒の自主的な活動を尊重し、自らの判断で適切な行動を取ることができる生徒を育成する。<br>③行事を通じて生徒の人権意識を向上させる。 | *      | *      | *       | *   |
| (4) 今日の教育課題に則した教育研究の推進と成果の還元 | SSH、SGH-A、グローバル人材育成プログラム、外国語教育強化拠点事業の教育研究を推進し、成果を還元する。  | *      | *      | *       | *   |
| (5) 情報発信の充実                  | ①生徒保護者への情報提供に努める。<br>②中学生、教育関係者への情報提供に努め、広報活動を充実させる。  | *      | *      | *       | *   |
| (6) 安心・安全な教育環境の保障と整備         | ①樹木の管理、害虫駆除、校舎内の環境整備をより充実させる。<br>②グラウンド等の教育環境を整備する。   | *      | *      | *       | *   |

|                |
|----------------|
| 自己評価           |
| A 高いレベルで達成できた  |
| B 達成できた        |
| C 一部達成できなかった   |
| D ほとんど達成できなかった |

②附属学校園の機能向上に関する事項

| 本年度の重点目標                             | 具体的な取り組み内容  | 自己点検評価 | 自己評価区分 | 学校関係者評価 | 改善策 |
|--------------------------------------|---|--------|--------|---------|-----|
| 教育実習の指導のより一層の充実及び教育実習の改善(中期計画35)     | 大学の実地教育運営委員会と協働し、教育実習指導や実習評価の改善に取り組む。   | *      | *      | *       | *   |
| 大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究に協力する。(中期計画36) | ・大学の「グローバル人材育成プログラム」事業に協力し、附属学校においてカリキュラムの試行や授業実践を行う。<br>・大学教員、附属学校園の教員と共同して「外国語教育強化地域拠点事業」に取り組む。<br>・SSH、SGH-Aの研究開発を大学と連携して取り組む。 | *      | *      | *       | *   |
| 地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の公表を図る。(中期計画37)  | ・本学附属教育実践センター機構との共催、京都府・京都市教育委員会の後援により、研究発表会を開催する。<br>・教育委員会その他学校関係者の学校訪問を積極的に受け入れる。  | *      | *      | *       | *   |

平成29年度 学校評価 年間計画

京都教育大学附属高等学校

| 時期          | 評価の検討と実施等   |
|-------------|---|
| 平成29年<br>3月 | 平成28年度自己評価実施、学校評価結果及び改善策取りまとめ   |
| 4月          | 「平成29年度教育目標と今年度の具体的な取り組み」策定並びに保護者・生徒配布周知                                |
| 5月          | 平成29年度学校教育評価項目、平成29年度学校評価年間計画の学長への報告<br>学校評価項目等ホームページ掲載                 |
| 6月          | 学校評議員の確定  |
| 7月          |   |
| 8月          |   |
| 9月          | 第1回学校評議委員会  |
| 10月         |   |
| 11月         | 研究会発表会参加者アンケート実施  |
| 12月         | 保護者アンケート・生徒授業アンケート・教員評価アンケート実施  |
| 平成30年<br>1月 |   |
| 2月          | 「平成29年度教育目標と今年度の具体的な取り組み」自己評価作成   |
| 3月          | 第2回学校評議委員会実施<br>学校自己評価実施、学校評価結果及び改善策取りまとめ                               |
| 4月          | 平成30年度学校評価結果及び改善策、平成を保護者へ周知<br>「平成30年度教育目標と今年度の具体的な取り組み」策定並びに保護者・生徒配布周知 |
| 5月          | 平成29年度評価結果及び改善策、平成30年度学校教育評価項目、平成30年度学校評価年間計画の学長への報告<br>学校評価項目等ホームページ掲載 |